



小島 崇弘 (60分) 誠友会

御幸町における生活道路の整備は

地区の交差点と加茂川右岸堤防の市道までを東西方向に結ぶ、延長約590メートルを拡幅する事業である。令和2年度の工事着手から昨年度末時点で約320メートルが完了し、令和10年度の開通をめざしている。

問

①交通渋滞緩和に寄与する生活道路の整備として、市道御幸61号線の道路拡幅事業の進捗状況と今後の見通しは。
②御幸学区が要望する、加茂川への架橋の取り組み状況は。

答

①県道加茂福山線の下岩成

②市道御幸61号線の拡幅工事完了後、交通状況などの事業効果を踏まえ、その必要性について改めて検討する。



市道御幸61号線の道路拡幅事業



貝原 大和 (55分) 誠友会

市民サービスのデジタル化と職員業務への生成AI導入は

問

①市民サービスのデジタル化の進捗状況は。
②どのような業務や部署に生成AIを導入しているか。また導入効果の実例や数値は。

答

①行政手続きのオンライン化の拡大をはじめ、スマート保育、

交流館等への施設予約やスマートロックの導入などを進めてきた。今後も、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、利便性や満足度を高めるサービスを提供する。
②一昨年12月に政策立案部署に先行導入し、ガイドラインを整備した上で昨年7月から全部署に導入している。企画のアイデア出しやアンケート結果の整理等さまざまな業務に活用し月当たり約1300時間の削減効果が生まれている。



生成AI作成「未来の福山市役所」



大村 展正 (55分) 誠友会

(仮称)子ども未来館の整備は

問

①利用者の安全確保は。
②学びを提供する施設において展示や設備の内容もさることながら展示の企画や説明をするスタッフも非常に重要と考えるが。

答

①整備されるエリアには(仮称)まちづくり支援拠点施設の整備も予定されており子どもか



田中 裕司 (55分) 誠友会

令和7年度予算編成方針は

問

今後の見通しでは、現時点での市債発行額で、令和21年度に公債費がピークになると予想されている。その時点で、ほかの重要な市民サービスに影響を与えないか懸念される。ピークを迎えた公債費がどのように推移するのか。

答

また、本市の行政運営に影響を与えないように、どのような対策を講じていくのか。

令和21年度の約206億円をピークに、5年後の令和26年度に向け、緩やかに減少していく見込みである。将来の公債費が、その時々に必要な行政サービスに影響を与えることがないよう、市債の発行抑制や繰り上げ償還、交付税算入のある有利な市債の発行、減債基金の効果的な活用など将来を見据えた対策に引き続き取り組み、公債費の抑制に努める。

※地域未来投資促進法(P4)：地域の特徴ある資源を生かした成長産業を支援し、自治体と事業者が連携して地域経済の活性化を図る法律